

R I weekly レポート

株式会社ライスアイランド

〒500-8322

岐阜市香取町3-38

電話 058(253)0310

FAX 058(252)5115

2002年12月23日

vol.1 担当 山田

～ シリアル・ルネッサンス～

<http://www.riceisland.co.jp>

健康に良いとして関心が高まっている玄米（発芽玄米）・雑穀。最近、「週刊文春」に「新鮮でない玄米で老化・動脈硬化の危険」という記事が掲載されました。穀物を基本とした安心できる食生活を提案しております当社では、次のように考えています。

「ドライタイプ発芽玄米四二グラム・一グラム」の原料玄米は糊摺り後、低温保管された物を加工していますので玄米としての酸化・劣化はほとんどありません。また、酸化を抑えるため酸素に対しバリア性のある包材に脱酸素剤を入れた包装形態で製品酸化防止措置をとっております。

また雑穀について、他紙においても問題が指摘されています。

「雑穀は輸入品が国産品として偽って売られていることがある。鳥や馬の飼料用雑穀は関税が安く、こうした雑穀が横流しされ食用に出回っている可能性がある。飼料用の雑穀は中国から輸入されている。雑穀は病虫害に強いので、農薬は使用されても除草剤だけで、栽培中に殺虫剤はほとんど使用されていない。雑穀から検出されたマラソン（有機リン系殺虫剤）は、収穫後に混入されたポストハーベスト農薬と考えられる。（「食べるな危険！」講談社 子孫基金より）」

当社は、国内産・輸入両方を扱い明確に情報公開することによって安心してきる雑穀を安定的にお届けいたしております。

国内産雑穀について

雑穀は農家一戸あたりの生産量が少なく生産者の特定は大変難しいのが現状です。当社では地域を特定し、アワ・キビは岩手県・長野県・九州など、ヒエは全量岩手県からの契約となっております。

輸入雑穀の産地は？

輸入は中国から行っております。中国に専属社員を置き、東北部にて栽培し、流通にまで介入し、自社で安全を確保できる食用の雑穀として輸入をしています。現在出荷の雑穀も十一月に残留農薬検査を実施し未検出という結果が出ております。

残留農薬など安定性は？

雑穀は冷害や病気に強い農産物で、基本的に農薬・除草剤を使用しなくても栽培できます。また、中国では農薬を使うことでコストが上昇し採算が合わなくなりませんので使用されております。弊社の雑穀は飼料としての輸入ではありませんのでポストハーベスト農薬は使用されておりませんし、また使用されたものは販売いたしません。どうぞ安心してご利用下さい。

お役立ち！情報ボックス

新商品 五種雑穀米スティックタイプ

お正月の疲れた胃に、雑穀が美味しい！

五種の雑穀をバランスよくブレンドした、使い切りタイプ

ひえ（国内産）押し麦（国内産）はと麦（国内産）

きび（中国産）あわ（中国産） 残留農薬検査済み

お客様の声：弊社HPより 神奈川県在住 Sさん

素食生活100gを近くの販売店で購入していますが、すぐ無くなり困っています。大袋はありませんか？

弊社からご回答：お客様の声にお応えし、待望の五種雑穀米スティックタイプが登場します。

参考小売価格

¥380

規格：25g × 12

C/S入数：10



本年は格別なお引き立てを賜わり誠にありがとうございました。来年もご支援の程よろしくお願い申し上げます。

来週のR.Iレポートは、「お正月明けの疲れた胃に、雑穀がおいしい。」です。1/6日のお届けです。

不要の方はチェックしてご返信ください。

FAX 058-252-5115